

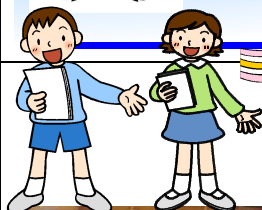


川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和4年3月11日(金) 第46号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



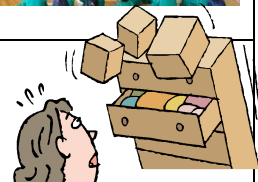
6年生を送る会



「1年生を迎える会」から始まった楽しい児童会行事も、昨日の「6年生を送る会」で本年度の幕が下りました。主役の6年生に楽しんでもらおうと5年生以下の子どもたちが「6年生と楽しもう」の企画・準備や運営にがんばっていました。その甲斐あって、昨日はとても楽しく温かな6年生を送る会になりました。学校を立派にリードし、下級生の世話などをやさしく行ってきた慕われる6年生だからこそ、そのような心温まる会になったのだと感じています。特に、送る会全体については、5年生や実行委員会を中心に企画・運営、司会進行、放送音楽、移動伝達、教室児童係等々、しっかりと取り組んでいました。5年生にとっても、最高学年を間近に控え大きな自信になったことと感じます。立派でした。



東日本大震災から11年



東日本大震災から今日で11年が経ちました。保護者の方々もそれぞれの状況下で大変な思いをされたことと思います。原子力発電所の事故後、川俣小にも双葉町から700人を超える人たちが避難し寝泊まりをしました。私も当時、隣の川俣南小で津島の方々の受け入れの手伝いをしていました。当時、日本の多くのところで当たり前のように見られたことがあります。それは、「困っている人がいたら手をさしのべる。」「思いやりの心をもって人に接する。」「人のいやがること・迷惑になることはしない。」心乱さず人として当たり前のことを当たり前に行う生き方、日本が世界に誇れる生き方であり、日本人の品格であると当時感じました。現在のコロナ禍ではどうでしょうか。あの日を境に放射線教育も行われ、今年度も全学年で福島医大等専門家の外部講師による放射線授業を複数時間行いました。防災教育等とともに、命を守り、正しい知識と生き抜く力、そして、人として持ち合わせるべき道徳心等がしっかり育まれる教育の大切さを再確認する3月11日です。